

広報

たかもり

風

人口の動き

(8月1日現在)

世帯数 2,552 (2)

男 4,068 (- 1)

女 4,373 (4)

総数 8,441 (3)

平成3年9月5日発行

■発行/高森町役場 ■編集/総務課 〒869-16・熊本県阿蘇郡高森町大字高森2168番地 ☎09676-2-1111・FAX2-1174

シーン'91



▲風鎮祭の名物「山引き」

おめでたおくやみ

(1991.7月受付分)

赤ちゃん
たんじょう



佐藤 望ちゃん 正己さんの2女
(草部) 7・1生 はま子
若永 智宏ちゃん 敏宏さんの長男
(高森) 7・3生 京子
沼田 萌夏ちゃん 勝之さんの長女
(高森) 7・9生 洋子
田上 大樹ちゃん 豊喜さんの3男
(高森) 7・13生 ゆみ子
後藤 大輔ちゃん 博祐さんの長男
(高森) 7・14生 恵利子
二子石悠平ちゃん 誠治さんの長男
(中) 7・17生 誠美

すえながく
おしあわせに

(敬称略)



(後藤 勝一 高森・昭和 7・15
後藤あつみ 白水村
(三次 圭介 玉名市 7・15
矢津田智子 永野原・幸子

おくやみ
もうしあげます

(敬称略)



(住所)	(遺族)	(死亡者)	(年齢)
高森	和田 久子	和田トシエ	88
津留	元村 幸敏	元村シマエ	87
色見	荒牧 蘇一	荒牧 千鶴	67
高森	色見キクエ	色見 富治	75
永野原	工藤ケサ子	工藤 國智	69

善意の灯

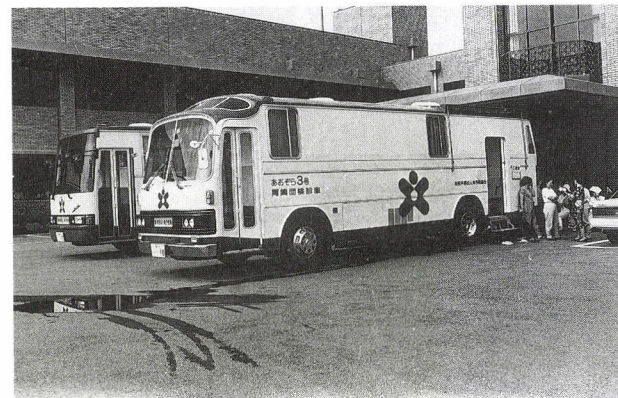
ありがとうございました (敬称略)

■町社会福祉協議会へ

〈香典返し〉白石ハツ子、工藤幸則、

色見キクエ、元村幸敏、本田一

〈病氣見舞返し〉岩下清則



集団検診はがんの早期発見になります

保健婦さんの
健康
チェック

れています。

胃がんは、日本人に一番多いがんですが死亡の割合は年々減少しています。それは、胃の集団検診の浸透と生活の改善にあるといえます。検診で早期がんが発見される割合は何らかの症状を訴えて病院に来る患者の約二倍、しかも早期に発見し処置すればほぼ一〇〇%が治っています。

がん
最も多い胃がん
急増する肺がん

今、わが国の死亡原因の第一位を占めている「がん」早期にはほとんど自覚症状がなく進行するやっかいな病気です。胃・肺がんについて実態と予防方法に触れていきます。

このことからみても集団検診を積極的に受ける必要があります。食生活では、米飯に漬物中心の食事から、塩分を減らし肉・野菜・果物・乳製品を取り入れたバランスのよい食事に心がけることが大切です。肺がんは、急増傾向にあり、将来は胃がんの死亡数を上回るだろうと予測されています。原因は、タバコ・石綿・大気汚染等があります。特にタバコは一日の喫煙本数×喫煙継続年数が六〇〇以上になると高率で肺がんが増加すると言われています。本町では、胃・肺がん検診を十一月に実施します。早期発見・早期治療でがんから身を守りましょう。

編集後記

▽訂正 8月号9ページ郡民体育祭「一〇〇m」で一位・三位・三位は一位・二位・三位の誤りでした。おわびして訂正します。

▼長い梅雨が終わったかと思えば短かつた夏、もう九月のような気候、広報担当の私にとつては、一日いちにちが短く思えます。▼この涼しい高森にもバナナの実がなるんですね。菅山の甲斐一誠さん方に今年もバナナの実がなりました。初めてみるバナナの実めずらしかあ。



9

1991
No.385

相談
年金

専門の相談員による年金相談所が開かれます。
国民年金、厚生年金、社会保険について相談を受けます。
お気軽においでください。
■とき／9月25日（水）午前10時から午後3時
■ところ／林業総合センター相談室

集 海上保安大学校及び
海上保安学校学生

海上保安庁では、3年度も海上保安大学校及び海上保安学校の学生を次の要領で募集します。
■受付期間／9月5日（木）から9月18日（水）
■受験資格／昭和43年4月2日（大学校学生は昭和46年4月2日）以降に生まれた者で次に掲げるもの
(1)、高等学校を卒業した者及び平成4年3月までに高等学校を卒業する見込みの者。
(2)、高等専門学校の第3学年の課程を修了した者及び平成4年3月まで高等

ご利用ください
園芸用ハウス設置
事業の助成

近年の農業情勢に対応し、近代農業を推進するため、今年度園芸用ハウスを設置する場合、その経費の一部を助成する補助金交付規則を設けましたのでご利用されるようお知らせします。

1. 補助対象
イ. 新規に園芸用ハウスを10a以上導入するもの。
ロ. 規模拡大を図るため、園芸用ハウスを10a以上増設するもの。
ハ. 既存の園芸用ハウスが8年以上を経過し更新のために10a以上設置するもの。
2. 補助金の額
資材導入経費の2分の1以内とし予算の範囲内で交付するものとする。
3. 申込み期限
10月15日まで農協指導販売課へ
なお、詳しくは、町役場農林振興課（②1111）・農協指導販売課（②0521）へお問い合わせください。

試験平成4年1月7日（火）・8日（水）

■試験地／第1次試験、熊本市・第2次試験、北九州市、鹿児島市。

申込み及び詳しいことについては、三角海上保安部管理課（☎0964・52・3103）にお問い合わせ下さい。

集 熊本県勤労者美術展
作品

熊本県では、第22回熊本県勤労者美術展の出品作品を次の要領で募集します。
■会場／熊本県立美術館
■種目／絵画（洋画・日本画・版画・デザイン）、書、写真
■申込期限／11月5日（火）から11月12日（火）

相談
法律（無料）

本町出身の弁護士・津留清さんによる無料法律相談が開かれます。
法律のことならなんでも結構です。お気軽においでください。
■とき／9月28日（土）午後1時から3時まで
■ところ／高森町中央公民館

口腔健康情報
入れ歯
アラカルト

「お宅では、入れ歯はいくらですか」という電話を何回か受けたことがあります。相手はだれかわかりませんが、とにかく入れ歯の必要な人だろうと思います。

いたずらに半分の人もいたかもしれません、返事のしようもない電話なので、「みてみな」とわかりません」と答えたものでした。

しかし、歯科医は「入れ歯を入れたらいくら金をとられるかわかったものじゃない」と思われる人もいるかもしれません。

どんな状態で、どんなふうに入れ歯を入れるのが良いかわからなければ返事のしようがないのです。

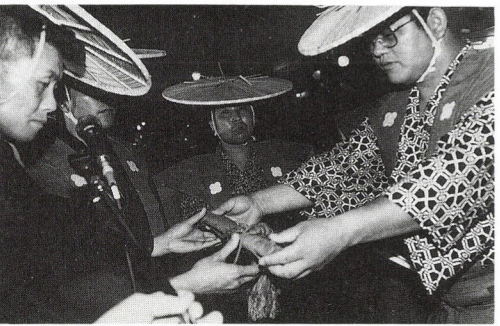
歯科医院に行つて直接みてもらつて相談し、よく咬める入れ歯を作ってもらいましょう。

阿蘇郡歯科医師会

今年から登場した五町対抗綱引き



横町向上会から年番の下町向上会へ「節刀渡し」



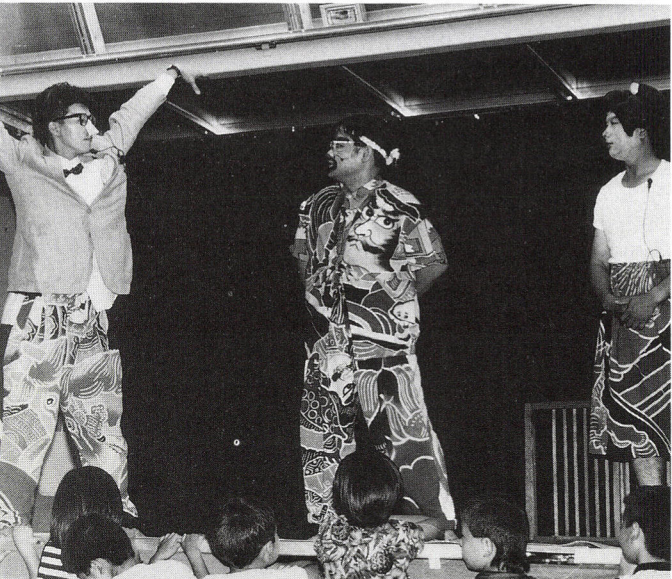
1000発の花火が観客を魅了



樽みこしが繰り出し祭りは最高潮

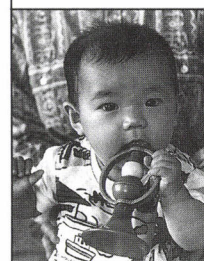


「御船太鼓」・「津軽三味線」も特別出演



みごと4連覇を飾った上町向上会の「にわか」

みんなのひろば

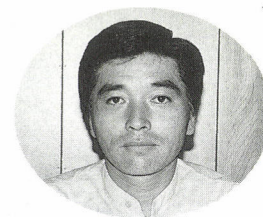


写真をご希望の方は、
広報係へご連絡下さい。
☎2111

全国大会で農林水産大臣賞受賞

第21回全国酪農青年婦人酪農経営発表大会

第二十一回全国酪農青年婦人酪農経営発表大会が七月二十四日から二十五日の二日間、石川県加賀市で行われ、高森・冬野の宇藤文三さん（41歳）がみごと最優秀賞の農林水産大臣賞に選ばれました。この大会は、全国六地区の予選大会で推薦された六人が発表、九州地区で推薦された宇藤さんが、国際化を生きぬく私の酪農経営」と題して発表、熊本県からは初の受賞となりました。



農林水産大臣賞受賞の
宇藤文三さん（41歳）

また、「ムリ」「ムダ」「ムラ」のない投資で効率的な規模拡大を行っている。そのため自給飼料も、夏作にトウモロコシ六・六ha、スーダン一・一ha、冬作にイタリアン六・八haなど十六haの粗飼料を栽培している。

稲わらも、稲作農家と堆肥交換を行い確保しています。このため、経産牛一頭当たりの年間産乳量は八千九十三キと多くはないが、生産コストが低いことから所得率の向上になっています。「酪農は休む暇もなく忙しい職業のイメージがつよいが、我が家は年に一度の家族旅行を欠かしたことがない」と宇藤さん、これからも、国際化の中で酪農経営の健全な発展を計るために、消費者ニーズに対応して衛生的で安全かつ、おいしい高品質牛乳の生産に励むそうで「若者（後継者）からも魅力ある職業に思われるよう、酪農人生を今まで以上に有意義なものにしていきたい」と話されていました。

楽しかった

山と川でのサマーキャンプ

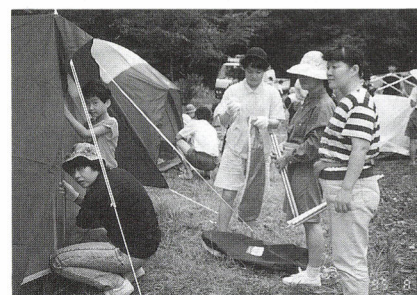
みました。

高森町少年育成キャンプ（町教育委員会・町青少年育成町民会議主催）が八月三日・四日、青年団・高森高校ボランティアクラブの協力を得て鍋の平キャンプ場で行われました。今年からスタートした山村留学制度を広く知ってもらおうと、くさかべ山村留学実行委員会が行ったもので、キャンプには、熊本市や合志町から二十七人の親子が参加しました。

共同生活の中で色々な体験をすることによって、たくましく郷土愛にふれた、よりよき少年の育成を図ることを目的に今年で四年目、町内の小学校から二十三人が参加しました。参加した子供達も、キャンプファイヤーやゲームを楽しんだ。



ゲームを楽しむ子供たち



テントはりもみんなで協力

じんぶつ探訪 医業に貢献

フィラリヤ病治療に貢献

故 武田 光磨氏



一生を医業に捧げた故武田光磨氏

昭和十一年頃、沖縄では、フィラリヤ病という病気が流行していました。患者数二千六百二十一人、保菌者約九万人と、当時の新聞は報じています。沖縄の風土病ともいわれたフィラリヤ病、この治療撲滅を研究され、フィラリヤ病の仔虫が肺臓に存在していることを発見、肺臓内からの検出に成功されたのが武田光磨氏です。フィラリヤ病とは、シジ

ヨウチヨウ科の線虫で、人のリンパ管に寄生しておこす病気です。発熱発作・関節痛などが症状で、慢性化して象皮病となります。また、同時期沖縄で流行していたもう一つの病気、脳脊髄膜炎（細菌・ウイルスの感染によって脳・脊髄を覆う膜が炎症を起こし、発熱・意識障害などがあり、死亡率が高い）の治療薬発見にも貢献されました。これは、沖縄県衛生課長（昭和十三年四月から同十六年十二月）時代に、研究されたものです。

武田氏は、明治二十一年十一月二十七日宮崎県高千穂町に生

れ、日本医学専門学校から東京帝国医科大学専科を卒業、その後、北里研究所で学ばれ、昭和五年九月十五日福岡県警察署勤務、昭和十年八月三十一日和歌山県衛生課、そして、沖縄県衛生課長、この時、昭和十三年十月二十一日、医学博士を授与されました。昭和十六年十二月十三日に徳島県衛生課長に就任、現在の徳島大学医学病院の設立にも大きく貢献された事が、徳島県医師会史に紹介されています。

昭和十八年二月から陸軍司政官、ジャカルタ医科大学部長、スラバヤ中央病院長をへて、昭和二十一年八月帰国、昭和二十二年七月二十五日日本町の永野原・大仲野に武田医院を開設されました。その後、九年の間永野原で地域医療に頑張られました。

武田氏は、農家の生まれで、新聞配達などをしながら勉強、医学博士になられた努力の人物です。

交通ルールとマナーの実践

秋の全国交通安全運動 9/21日～9/30日

県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、その交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的に展開されます。

■運動の重点目標

- ①若者による無謀運転の追放
- ②シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底
シートベルトの正しい着用を習慣付け、後部座席の同乗者に対してもシートベルトを着用させる。
- ③違法駐車の手止め出し

高齢者交通安全旬間 9/11日～9/20日

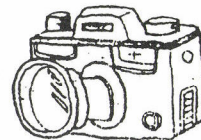
近年における高齢者の交通事故の増加傾向にかんがみ、高齢者の交通安全に関する県民の意識を醸成するとともに、高齢者自身の交通安全知識の向上と交通安全思想の高揚を図り、正しい交通ルールと交通マナーの実践を促進することによって、高齢者の交通事故防止の徹底を図ることを目的に展開されます。

■重点目標

- ①高齢者の交通安全に関する県民の意識の醸成
- ②高齢者の歩行中（特に横断中）及び自転車乗中の交通事故防止
- ③高齢運転者の交通事故防止



話題がありましたら、お知らせください。
企画課 広報統計係 (☎21111)



モンタナ州から

高校生がホームステイ

七月二十七日から八月七日の十二日間、アメリカ・モンタナ州から二人の高校生が本町にやってきました。

熊本県が、昭和五十七年にモンタナ州と姉妹都市になり「高校生相互派遣」のプログラムが計画されました。その

望さんがそれぞれホームステイとして受入れられました。

二人は、夜市、夏祭、海水浴などを体験、草部中学校で行われたキヤンプにも参加、バスケットボールを楽しみ二人だけで中学生と宿泊、大いに交流を深めました。

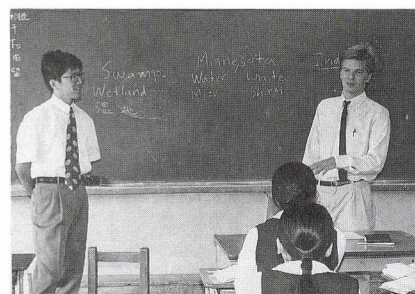


ことばは通じなくても身振り手振りで

よろしく
マーク・マースルです

本町では、八月から中学生の英語指導助手として「語学指導等を行う外国青年招致事業」で外国青年教師を招いています。

青年教師は、アメリカ・ミネソタ州出身、今年二十五歳のマーク・マースルさんです。マーク・マースルさんは今回が二度目の来日ですが、慣れるのも早く、さっそく風鎮祭の総踊りに参加されました。本町には一年間の予定で滞在、中学生の英語指導にあたります。



高森中で英語指導をする Mr. Mark Marcell



熱気あふれる大会会場

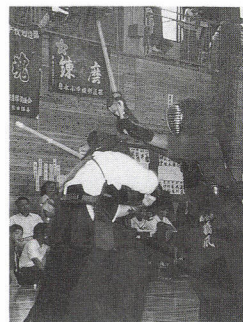
高森小A堂々の準優勝

高森町少年剣道招待錬成大会

第八回高森町少年剣道招待錬成大会が八月十八日高森中学校体育館で開かれ、高森小学校Aが準優勝しました。

この大会は、青少年育成の一環として、毎年風鎮祭に合わせて行われるもので、今年も熊本市をはじめ県内外から小学校男子三十六チーム、中学校女子二十チーム、中学校男子二十四チーム、中学校女子十七チームが参加しました。

高森小学校Aは、決勝戦で熊本直心館と対戦二対二のす



え代表決定戦で惜しくも準優勝と健闘しました。

会場では、熱戦を繰り広げる子供に、父母らの盛んな声援が送られていました。

全般的に高値

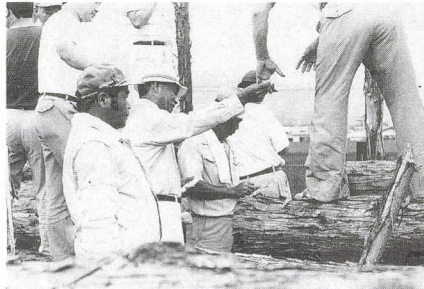
森林組合選木市

平成三年度森林組合選木市が七月二十七日同組合で開かれました。

今回の選木市には、スギ・ヒノキ合わせて五一・一m(ヒノキは二三〇m)の材木が市にかけられました。

スギ・中目材・小丸太とも高値で取り引き、ヒノキも全般的に高値で特に南郷松は二〇%から三〇%高の取り引きでした。

遠くは八代から三十二人の取り引き業者が集まりずらりと並んだ材木に見入っていました。



盛況だった選木市



真剣に石けんづくりをする受講生のみなさん

汚染防止に固形石けんづくり

食用廃油を利用して固形石けんを作ることにより、環境汚染防止に役立てようと八月九日、林業総合センターで高森町婦人会(松野博子会長)が固形石けんづくりの講習会を行いました。

講習会は、いきいき健康教室で行われ、婦人会の児玉民江さんの説明を聞いた後、さっそく石けんづくりに取り掛かっていました。出来上がった石けんは林業総合センターに置き、料理教室等に使用されます。

固形石けんは、苛性ソーダに水を入

れよく混ぜて溶かした後、廃油を入れます。そして十五分から三十分かき混ぜ、固まりかけた頃発泡スチロール等の箱へ流し込み出来上がります。

廃油で作った石けんは、まずリサイクルである、川に流しても汚染度が少なく手にやさしい、洗浄力が大きい、合成洗剤を使用しなくてもよいなどの利点があげられる。

婦人会では、今後も各地域で環境汚染防止の推進運動を進めていくことにしています。

中学生大韓民国に行く

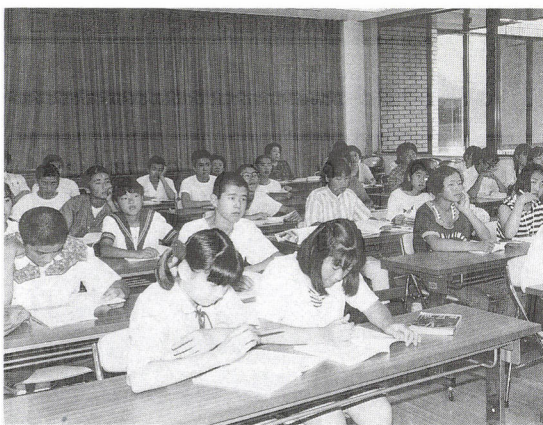
第一回南阿蘇中学生海外研修(南阿蘇六ヶ町村教育委員会主催)が八月十九日から二十三日まで、四泊五日の日程で行われました。

日本の世界に対する役割が年々増大している折、中学生の海外研修を通じ、集団生活や異国文化・人情等を直接体験することにより、世界に貢献しうる人材の育成に努めるよう始められました。

が参加、引率者と合わせて四十三人の海外研修となりました。

研修は、慶州市の仏国寺、天馬塚古墳の見学から始まり、大韓民国唯一の日系婦人保護施設ナザレ園訪問、熊本県との姉妹提携都市忠清南道扶余へ表敬訪問、大韓民国中学生との交歓会や88オリンピック施設・安重根記念館・板門店等社会見学をしました。

交歓会では地元の小・中学生が民族舞踊等を披露、大歓迎に参加した中学生も感激を受けました。



事前研修を受ける中学生